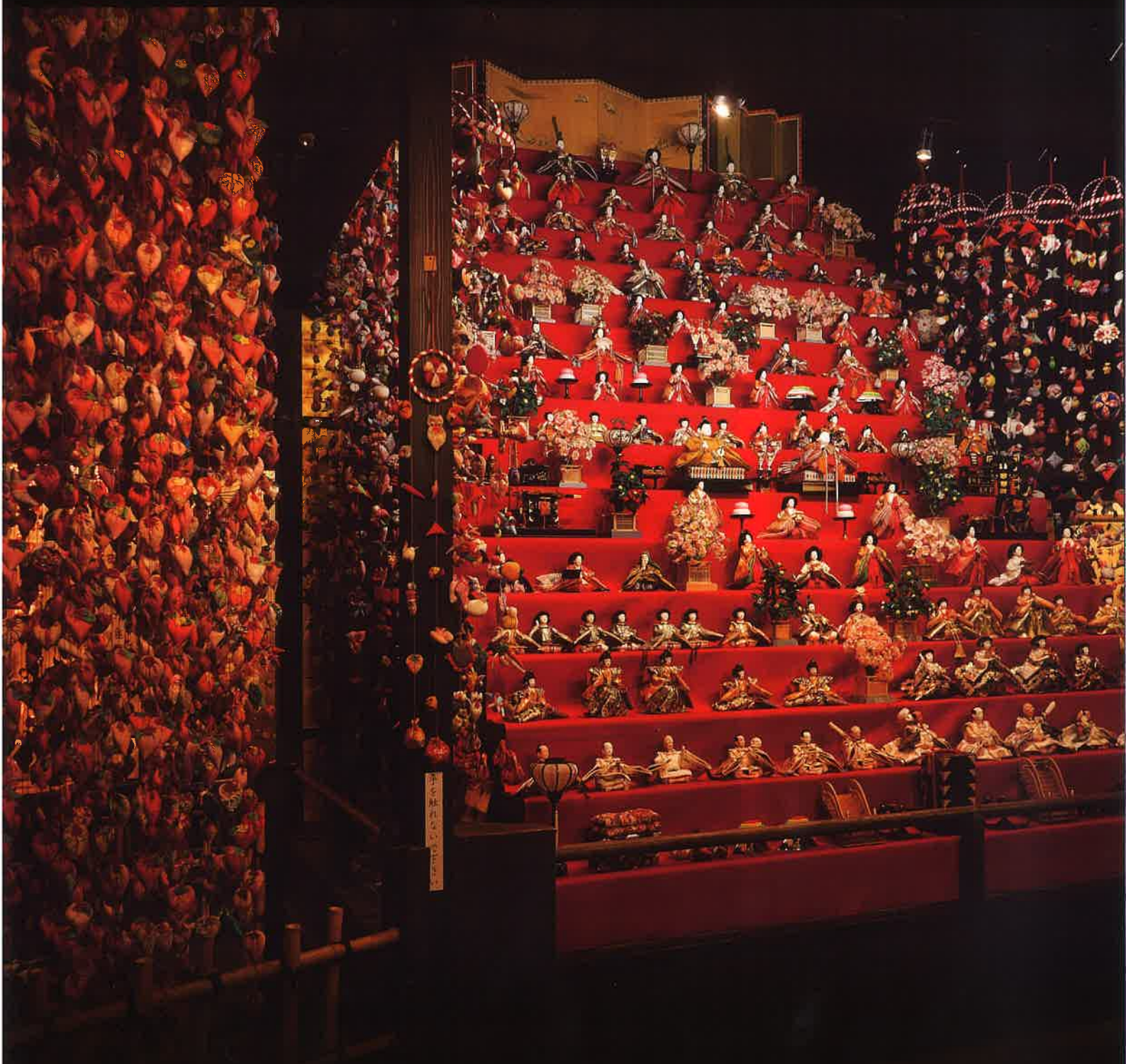


[伊豆稲取] 雛のつるし飾り発祥の地



# 第27回 雛のつるし飾りまつり

2024年 1/20<sup>土</sup> ▶ 3/31<sup>日</sup>



← 詳細は公式サイトへ





# 素盞鳴神社 雛段飾り

開催期間 令和6年  
2月17日(土)~3月10日(日)  
■展示時間 午前10時~午後3時(雨天中止)

1617年の創立とされる素盞鳴(すさのお)神社。稲取と海を見守るお雛様として、神社の百十八段の階段に雛人形とつるし飾りを展示します。雛人形を飾る段数は日本一。杜親の雛段飾りです。

※ 施設運営管理費として300円のご協力をお願いします。



## 南伊豆町 みなみの桜と 菜の花まつり

開催期間 令和6年  
2月1日(木)~3月10日(日)



## 伊豆大島 椿まつり

開催期間 令和6年  
1月28日(日)~3月24日(日)

高速ジェット船 稲取⇄大島航路  
■運行期間 令和6年2/3(土)~2/29(木)  
■所要時間 高速ジェット船にて約35分

## 伊豆稲取温泉

## 雛のつるし飾りまつりマップ



# 雛のつるし飾りまつり

## つるし飾りの歴史

雛のつるし飾りの風習は、江戸時代後期の頃を発端とする「稲取独自の伝統の飾りもの」で、その起源は定かではありませんが明治生まれのおばあさんがこどもの頃からつるし飾りがあったと言います。その歴史はゆうに百年以上を超えるものと思われれます。子や孫の成長を願うやさしい温かい心を込めた稲取独自の風習で、女の子のすこやかな成長を願って手作りされ、意味や決まりごとを守りながらこの町独自の和細工として現在まで受け継がれてきました。

## 雛の館展示会場

■開館期間 令和六年 一月二十日~三月三十一日  
■開館時間 午前九時~午後五時(四時三十分受付終了)

●メイン会場「文化公園 雛の館」入館料500円・大型バス可  
100対展示(約11,000個+6,409個)

雛のつるし飾りを現代へと伝えるメイン展示会場です。館内のメインとなるシキボつるし飾り(6,409個)とシキボつるし飾り(17段)は圧巻!端午のつるし飾りや、日本三大つるし飾りと書かれている福岡県柳川のさげもん、山形県酒田の幸福も展示しております。

●協賛会場「なぶらと」と「入場料100円・大型バス不可」

200対展示(約2,000個) ※期間 二月十七日~三月十日のみ  
当館を管理する荒店(あらみせ・屋号)さんが所有する江戸時代の古今雛が展示されています。田平戸(長崎) 藩主松浦家の寿免(すめ)姫が島羽藩主稲垣家にお輿入れした際に持参したお道具のお雛様です。

●協賛会場「収穫体験農園ふたつぼり」入場無料・大型バス不可

18対展示(約1,980個)  
稲取の一般民家における飾り方に一番近い形になります。また、東伊豆町天然記念物に指定されている樹齢約200年の大きな鳥の姿をした優美な「鳳凰の松」も御覧頂けます。期間中はみかん狩りが体験できます。(要体験料)

●協賛会場「八幡神社」入場無料・大型バス不可

6対展示(約600個) ※駐車場は東海汽船乗り場の駐車場  
稲取の総領守社。雛のつるし飾りが飾られる「総馬殿」は毎年7月の例大祭で子供の三番叟の舞が奉納されます。今年も、稲取高等学校被服服食物部の部員が展示をしました。

※ つるし飾りの展示数は目安です。